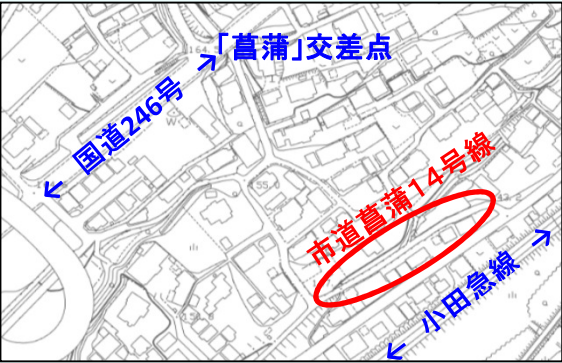


○ 第1部 市政報告	
【市からの状況説明】	
<p>1. 新型コロナウイルス対策</p> <p>2. 全国屈指の森林観光都市に向けた取組み</p> <p>3. プレミアム電子商品券</p> <p>4. 上小学校の特認校制度</p> <p>5. 移住・お試し住宅「TANZAWA LIFE」</p> <p>6. 源蔵畑林道の整備</p> <p>7. 任意団体「Field for citizen」による市民提案型協働事業「上地区における遊休農地の再生と観光農園の推進」</p> <p>8. 通学路整備・市道改良・公園遊具改修など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道菖蒲14号線道路改良 ・市道菖蒲13号線道路改良 ・カルチャーパーク陸上競技場改修工事 <p>※詳細は別途資料参照</p>	市長
○ 第2部 地域まちづくりについて	
1 新東名新秦野インターチェンジ開通に伴う上地区市道の諸問題について	
【市からの状況説明】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新東名の開通に伴い、市内国道246号における交通量の変化はないが、八沢入口の先が増えている。 ・ 新東名の開通に伴い、国道246号の新甘柿橋付近への信号機の設置を目指し、神奈川県警察と協議を重ねてきたが、設置には至らなかった。 ・ そのため、市の代替事業として、国道246号の八沢入口交差点から市道堀西21号線との間において、現在、市道菖蒲14号線の市道を4.7メートルとする拡幅整備を実施している。 ・ 市道堀西21号線の安全対策として、車両の運転手への速度抑制の注意喚起等を検討する。 	建設部長
市道菖蒲14号線 道路改良工事	

・ 信号機の制御等交通規制は、交通管理者が公安員会であるため警察が所管している。八沢入口交差点の信号機の制御について、秦野警察署に現地の状況を説明し地域の要望等を報告している。

・ 4月16日の新東名開通時、当初の交通量の見通しが難しい中、インターチェンジの出口から国道246号に合流する箇所の信号機を標準設定として青の時間を長めに設定していたと聞いている。その後、現場の状況を確認し、6月8日に信号機の秒時を変更していただいた。警察としても、開通後1年が経過していないため、季節、繁忙期、時間帯により交通量の変動が見込まれるため、引き続き、渋滞を抑制する信号機の運用管理に努めるとの回答であった。

・ 市では、今年度市内に5台の防犯カメラを設置するが、そのうちの1台を、この交差点周辺に設置するため、警察と連携して交通状況を把握する。



新秦野ICの出口から国道246号に合流する信号機「八沢入口」周辺に渋滞

くらし安心
部長

【質問・要望・意見等】

(意見)

・ 「菖蒲」の信号を左折したところに自治会館がある。迂回路で朝晩の交通量が多いが、歩道がない。途中までであるが、信号から50～60メートル先まで歩道があれば、安全に通行できるので、ない箇所への歩道の設置をお願いしたい。



「菖蒲」の交差点を左折した道路には、一部歩道がない

菖蒲自治会

(市回答)

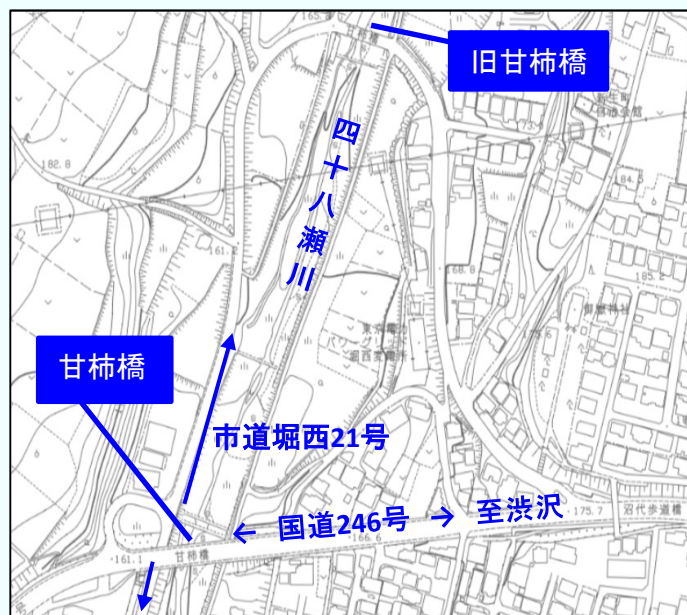
・ 現地を確認し、地元自治会の皆様と御相談を伺いながら対応する。

建設部長

会長

(要望)

- ・ 菖蒲の信号の箇所は、1メートルか2メートル削る等道路部分を深くし、回りやすくすれば、見通しもよくなる。定期的に草刈りをすればいいのだが、草が繁茂し道路を狭め見にくく、危ないので歩道を設置していただきたい。
- ・ 新東名の開通以前は、国道246号の下り線が沼代新町付近から渋滞していたが、開通後は松原町付近から渋滞する。そのため、信号がなく渋滞していない旧道、旧甘柿橋へ抜ける車が増え、狭い道路を時速40～60キロメートルの速度で通行する。周辺ではウォーキングする人もおり、怖い思いをしている。
- ・ 林業センターの付近は、歩道があるが、その先がない。
- ・ 旧246 堀西21号は、一部歩道があるが森林組合連合会林業センターまで歩道がなく、その先の国道246号交差点周辺が狭く、曲がっているため見えにくい。特に、朝方や夕暮れ時は危険である。



「菖蒲」信号機のある交差点の曲がり角は
草が繁茂し、歩道がない

(説明)

- ・ この後、狭小道路についてテーマとして取り上げているため、その中で取り扱う。

副会長
(司会)

2 市街化調整区域内の上地区の将来展望

【市からの状況説明】

- ・ 都市型農業は、生産地と消費地が近いという立地を利点として生かした農業を行うものであり、主な特徴として、「地産地消による新鮮な農産物の供給」、「農業体験・交流活動、農産物直売所等を通じた生産者と消費者等との交流」等がある。
- ・ 市内には、農産物直売所が約20箇所あり、観光農業、農園ハイク等により、本市の利点を生かした都市型農業が行われている。
- ・ 上地区にもなしやぶどうの直売所があり、市でも、皆様の承諾を得ながら、摘み取り、堀取り、直売所等のマップを作成している。
- ・ 農園ハイクは、コロナの影響で約2年実施できていないが、以前は、200～300人程、市内及び市外からも多くの参加があり、大変人気があったため、コロナの収束後には再開したい。
- ・ 農道整備については、上小の西側の柳川地区において、神奈川県補助制度を活用し、総延長260メートルの農道整備を実施している。令和8年度を完了年度とし、着実に取り組む。
- ・ 今後も地域の農業者の皆様と話し合う機会を通じて、農業振興に資するソフト・ハードの取組について、JAとも連携し、意見交換をしながら取組を進める。
- ・ 令和2年度の調査では、さと地共生住宅開発許可制度に適合すると思われる土地を抽出する調査を行った。
- ・ 今年度は、更に詳細に土地の形状や接道、また、優良農地として使われている土地もあることから、現在の利用状況等も調査し、宅地化できる可能性の高い候補地を絞り込んでいる。今後、その結果に基づいて、土地所有者への意向確認を個別に行い、制度の利用促進に向けた取組を進める。
- ・ 調査結果の公表は、個人の方がお持ちの土地に関する情報であり、所有者の意向や事情もあるため、調査結果を即、公表する予定はないが、適地となった所有者の方が、土地の売買等の方向に進むようであれば、了解をいただいた中で、何らかの形でオープンにしていくこともある。

環境産業部長

【質問・要望・意見等】

(要望)

- ・ 上地区の将来展望とタイトルで御説明いただいたが、今ひとつ展望が見えてこない。農業振興だけの説明であったが、もっと、トータルで上地区の未来、まちづくりについて、展望の説明があるのかと思っていた。先程の説明の資料をください。
- ・ 市政報告でにぎわい創造の報告があったが、上地区こそにぎわいがほしい。過疎地区、高齢者社会の中で、上地区は頑張っている。
- ・ 寄は、絶えずヒューマン活動が行われ、集客力があり、素晴らしい。例えば、自然休養村には管理センターがあり、収入事業が実施され、まちづくりに還元されている。ドッグランやバーベキューで大変にぎわい、イノシシや鹿の肉が食べられる食堂やマス釣り、川のバーベキュー、川釣り等の様々なレジャーが自然休養村の中で工夫され行われている。町と自然休養村が一体となり町の中心で観光PRを行っている。上地区にもこのような事業が行われてもいいのではないかと考える。
- ・ にぎわい創造は、駅や商店街だけではない。上地区こそ、人の心をどうつなぐかという問題を含めて考えてほしい。
- ・ 再来年には、農業協同組合が撤退すると聞いており、上地区の衰退が予想される。上地区の過疎、未来、にぎわいづくりについて考える懇話会を設置いただきたい。まちづくり委員会へだけでなく、市の支援も要望する。

三廻部自治会

(市回答)

- ・ 上地区と寄地区を単純に比較することはできないが、参考になるお話であった。
- ・ 新東名ができたことで、新秦野インターチェンジを利用する人が増えている。開通に伴い、道路問題等が生じるが、一方で、新秦野インターチェンジを降りる方に利用していただくしかけづくりが必要であると考え。上公民館まつりで、JAはだの上支所にも色んなブースが出ていたが、上地区農園ハイクや移住お試し住宅等、地域の魅力は非常にある。昔の交番のところに、ログハウスが10軒建っているが、上地区には、非常に潜在的な魅力があるため、活用することで活性化を図ることを考えている。上地区は、表丹沢の魅力づくりの一番西側に位置づけ、駅のにぎわいとは異なるにぎわいづくりに取り組み始めた。さと地共生住宅開発許可制度は、上地区独自の制度であり、今まで活用されてこなかったが、今後は移住・定住に結びつけられるよう、研究している。にぎわいは一朝一夕にはつくりえないため、皆様のお知恵をかり、市でできること、地元でできることを考えながら、上地区の活性化を考えていく。

市長

(意見)	<ul style="list-style-type: none"> 寄地区が発展し、上地区でできないことの差は、地域ごとにおける建物の規模や用途の制限を定める、用途地域の差である。私見だが、寄地区は、指定地域が多いと考える。東名開通前に、上地区にも指定地域がつくってあれば、それなりに発展していったのではないか。 	菖蒲長寿会
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 調整区域内の上地区について、開発調整におけるさと地共生住宅開発許可制度が平成25年度に整備されたが、この制度を利用するに当たって、基本的な項目として、道路が4メートルないと利用できないとの規制がある。他の法律や開発要綱があり、最低限4メートルが必要であることは仕方ない。上地区の規制の住宅エリア内には、4メートル以上の道路が整備されている箇所はほとんどない。上地区の市街化区域の菖蒲の中、住宅地の周辺においても、4メートル以上の道路は少ない。市街化調整区域の道路整備は、特段の配慮がないと、高齢化、住民の伝承等が廃れてします。目線を向けていただきたい。さと地共生住宅開発許可制度を作ってもらっても、大元の制度に規制があつては、住宅は建てられない。市の政策の中で工夫してほしい。この後続く、かみちゃん号の市道の整備に出てくるが、八沢と湯ノ沢、基本的には、昔から1メートル500～800メートル程の幅しかない農道みたいな、山間部のカーブの多い道路でしかつながない。上地区の将来のために、早く整備してほしい。 昨日、上公民館まつりの反省会が行われたが、湯ノ沢地域の住民が会場への交通に困っているのが、湯ノ沢団地の自治会長から検討してほしいとの御意見があった。参加したいが、交通手段がないとの御意見が出ている。是非、市道の整備をしていただきたい。 	副会長
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 4メートル未満の道路が多い中で、道路の拡幅が難しい状況があるが、市道13号線や14号線のように、昔から狭かった道路が、新東名の開通を契機に、地域住民の御理解をいただき、4.7メートルの道路ができたところもある。 湯ノ沢団地の住民が山道を通行しなければいけないのかという御意見は十分わかっており、道路整備は、地道に取り組まなければいけない。また、移動手段も大変難しい状況にあるが、どのようなことができるか考えていきたい。 	市長



3 狭小で危険な通学路の解消及びかみちゃん号運行ルートの市道整備

【市からの状況説明】

(1) 児童生徒の通学路の安全確保

- ・ 通学路の安全対策は、学校、保護者並びに地域の皆様から危険性を指摘され、安全対策を要望されている箇所を中心に、市(くらし安心部、建設部、教育部)、秦野警察署及び関係機関等が連携しながら、合同点検などにより実現可能な安全対策を検討する。
- ・ 例年100箇所前後の要望があり、本年度は市内全体で94箇所の要望があった。
- ・ 具体的には、安全啓発のための看板の設置やグリーンベルトの整備等、その場所に合った対策に取り組んでいる。
- ・ 昨年6月に千葉県八街市の通学路で発生した事故を受け、本市の通学路の安全対策のため、今年度、学識経験者や保護者、地域の代表者などを構成員とした通学路安全対策推進懇話会を設置し、これまで2回開催した。
- ・ この懇話会には、秦野市自治会連合会の会長にも御参加いただいている。
- ・ 本市の通学路の安全対策に対する様々な視点からの意見や助言を参考に、安全対策全体の底上げにつなげる。
- ・ 市(教育部)では、子どもたちの見守り体制を強化するため、2学期から通学路の見守りボランティア登録制度を開始した。この今回新たに開始した制度は、特定の団体に属していなくても個人でも参加ができる。
- ・ 市(くらし安心部)では、道路標識、電柱に、交通安全の啓発の看板を年に50～100箇所設置している。今年度は新たに路面シールの設置にも取り組んでいる。危ないと気になる箇所があれば御相談をいただきたい。

くらし安心
部長

(2) かみちゃん号

- ・ 現在、かみちゃん号は、「湯の沢線」「みくるべ線」「柳川・八沢線」の3つのルートで運行しています。
- ・ 路線や、運行ダイヤは、運行事業者である株式会社愛鶴を交えた地元の上地区公共交通協議会において議論し、決定をしているので、今後も、地元の皆様と話し合いながら、必要に応じてより利便性のある効果のあるルートの再検討をする。
- ・ 旧道(市道堀西21号線)から(有)高橋建材を上がり、国道246号菖蒲の交差点、新秦野インターチェンジまでは生活道路であり、かみちゃん号の将来の運航を視野に入れての整備の経過がある。今後も拡幅整備を所管する建設部と協力して、現地を踏まえて優先度を考えながら、現行のルートが安全に安心して走行できるよう新たなルートにもつながるよう取り組む。

都市部長

(3)-1 市道の整備 「柳川地区の 市道78号の長福寺周辺の拡幅」

- ・ 上小学校の通学路である、上小学校西側から生き物の里につながる柳川6号線において、昨年度から、県の補助事業を活用し、幅員を拡幅する工事を実施している。
- ・ この工事の後、御要望の長福寺周辺の市道78号線の道路を拡幅整備を進めるに当たっては、隣接する沿道地権者の同意が必要であるため、道路整備ができるよう、地元で御尽力・御協力をいただきたい。

建設部長



道幅が狭い



(3)-2 市道の整備 「八沢・湯ノ沢 地区の市道19号の坂の下から湯ノ沢までの拡幅整備」

- ・ 市道19号線の要望については、道路延長も800m程度あり、拡幅整備には時間と費用が多くかかる立地等の状況から、現段階で即工事は難しい。
- ・ 現在、退避場やカーブミラーなどの安全施設を設置している。
- ・ 可能な安全対策を考えていき、御協力をお願いします。

建設部長



林の中を通り、
道幅が狭い

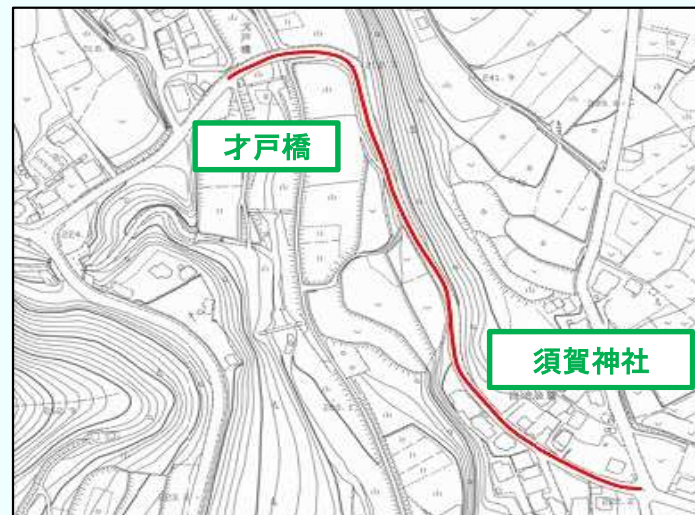


(3)-3 市道の整備 「菖蒲小原・三廻部・黒木地区の 市道18号線の才戸橋から須賀神社交差点までの歩道整備」(排水側溝のコンクリート蓋の上の歩行に際し、蓋の穴・段差で歩行しづらく危険である)
 ・ 西中学校の通学路でもあり、延長が長いので、排水側溝のコンクリート蓋の穴・段差で歩行しづらく、危険であるという箇所から、順次、補修や交換等の対応をする。

建設部長

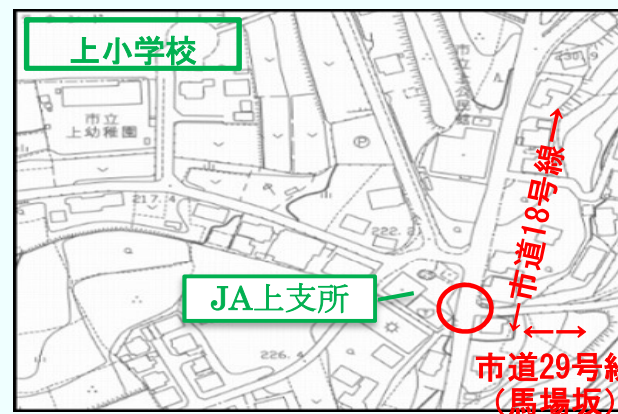


側溝の蓋の穴や段差で歩行しづらく、危険



(3)-4 馬場坂 菖蒲29号線市道18号線のT字交差点の隅切りの整備
 ・ 馬場坂の上がってくる右側(北側)は、隅切りがされている。
 ・ 南側については、まずは、隣接する地権者さんの同意が必要となるため、地元の皆さんにも御協力をお願いします。

建設部長



T字交差点に隅切りがなく曲がりにくい

(3)-5 旧246 堀西21号の松田寄りの国道246号線交差部周辺が狭く、迂回車両による事故を未然に防ぐ為の拡幅整備等の改善 建設部長

- ・ 市道堀西21号線の安全対策としまして、車両の運転手が速度を抑制し、安全運転することが重要である。
- ・ 路面標示や看板の設置も考えているが、ハンプの設置を望む御意見も伺っている。まずは地元の同意が必要であり、市は、特にお近くに住む住民の理解が得られれば、ハンプの設置を前向きに考える。



交差部周辺が狭い



【質問・要望・意見等】

- ・ 隅切りの件は、地元自治会から所有者へ隅切り整備のお願いをして同意が得られれば、市へ改めて御要望すればいいのか。
- ・ 馬場坂を下った先、セットバックした箇所と目の違いが生じている箇所がある。馬場坂の上り坂について、平成10年頃に、馬場坂の改良工事と併せて道路を整備するとの話があったが、結果的に、片側(山側)は後退だけで整備されなかった。現場を見て、整備をお願いしたい。

菖蒲第1自治会

(回答)

- ・ 市へ御相談等があれば、職員が現場を見て、事業化を検討し対応するので、まずは、御相談させていただきたい。
- ・ 馬場坂を下った坂の件は、事前に聞いていないため詳細が分からないため、まずは、隅切り部分と併せて現場を見て対応する。

建設部長

○ 第3部 市政全般について	
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の新聞でジップインストラクチャー株式会社が、自走型ロープウェーを開発したと知り、大変感激したが、本市の取組の進捗状況を教えてほしい。 	菖蒲長寿会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小田原市で山を活用して実証実験をしていたが、さらに、もう少ししっかりと実証実験をしたいとの御意見を受けて、北地区の一部工場をお借りし、実証ルートを作った。そこを活用し、運行する予定である。 ・ 今月中に試乗ができるのではないかとのお話があるので、改めて、お知らせしたい。次世代型の交通システムであり、将来性があると考えている、部品も1万点以上必要であり、市内の産業と結びつけば、期待している。秦野発の交通システムが全国に展開できれば、市としてできることを支援していきたい。 	市長
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この事業が実現し、秦野駅から戸川公園まで水無川沿いを運行し、上地区へつながれば観光資源になると思う。また、経費も安くできると聞き、期待したい。 	菖蒲長寿会
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新東名が開通し、人を呼び込むにはまず道路の整備が必要である。湯ノ沢団地も過疎化が進み、人が増えないのは、道路が整備されていないことも原因としてある。道路は生活の中で一番大事であり、是非、上地区の道路整備を優先していただきたい。 	湯ノ沢団地